

システム要件定義成果物サンプル&ガイド  
DS-401 : CRUD

第1.10版

2018年08月29日

## 1. 概要

システム機能が、エンティティに対して行うデータ操作（CRUD：Create、Read、Update、Delete）をエンティティとシステム機能のマトリクスで定義する。

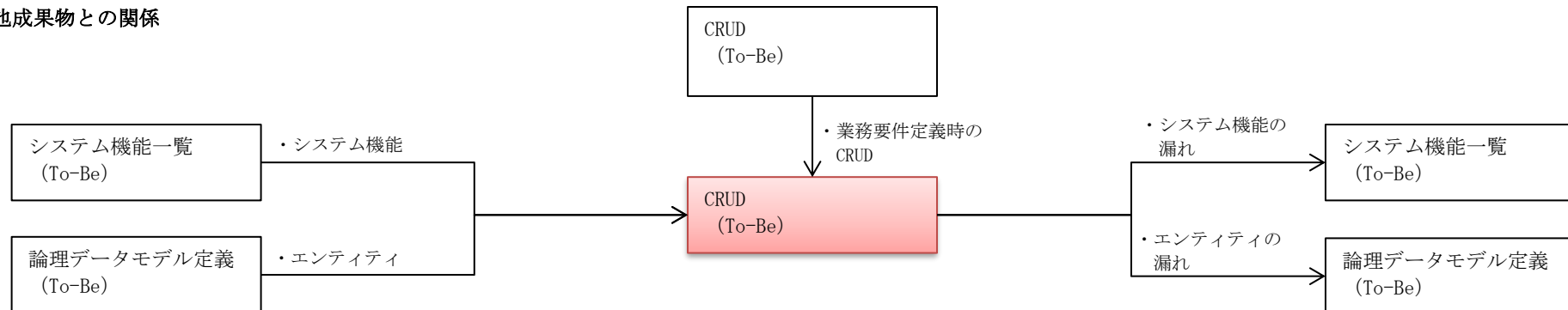
## 2. 使途

- CRUDからデータライフサイクル視点でのデータ操作の矛盾を抽出し、システム機能やエンティティの漏れを確認する。  
※矛盾の例：Createするシステム機能が存在しないが、Readするシステム機能が存在する。

## 3. 記入要領

No	記述内容	記述内容説明	補足
1	エンティティ	論理データモデル定義のエンティティ名を行タイトルに記述する。	
2	システム機能	システム機能一覧のシステム機能IDとシステム機能名を列タイトルに記述する。	
3	データ操作内容	システム機能が、エンティティに対して行うデータ操作を記述する。 C：Create（作成） R：Read（参照） U：Update（更新） D：Delete（削除）	

## 4. 他成果物との関係



### 【補足：業務要件定義時とシステム要件定義時のCRUDについて】

業務要件定義とシステム要件定義時のCRUDは、以下から作成される。

- ・業務要件定義時のCRUD：システム機能一覧（業務要件定義時）のシステム機能 × 概念データモデルのエンティティ
  - ・システム要件定義時のCRUD：システム機能一覧（システム要件定義時）のシステム機能 × 論理データモデルのエンティティ
- システム要件定義実施により、システム機能・エンティティともに整理・具体化されるため、システム要件定義時のCRUDとして再作成する。

5. 表記例

C : Create(作成) R : Read(参照) U : Update(更新) D : Delete(削除)			エンティティ名																																		
			顧客マスタ		アカウント		顧客アカウント構成		個人		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・		・ ・ ・
システム機能名	AAAA10	個人会員仮登録機能	C		C		C		C																												
	AAAA20	個人会員本登録機能		R		R		R		R																											
			U																																		
	AAAA30	個人会員仮登録削除機能		R		R		R		R																											
				D		D		D		D																											
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
	・ ・ ・	・ ・ ・																																			
			C件数	R件数	1	2	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			U件数	D件数	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0